

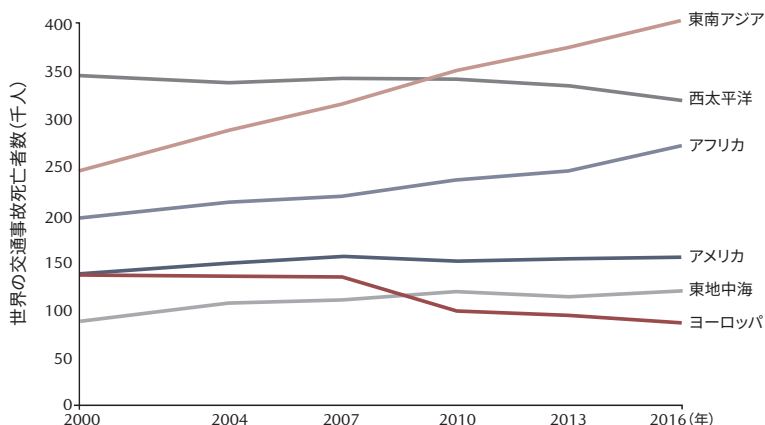
社会

事故のない安全なクルマ社会の実現

社会課題の認識

交通事故による死者数は、先進国では安全技術の向上などにより、横ばいまたは減少傾向にある一方、新興国ではモータリゼーション（自家用乗用車の普及）の進展に伴い増加傾向にあり、世界全体では2016年時点で年間約135万人もの人々が命を落としています。自動車業界には、交通死亡事故ゼロを目指した、歩行者や自動車乗員などの安全確保、重大事故の防止、自動運転関連技術の活用・適正利用促進など、車両安全対策の推進が求められています。

世界の交通事故死亡者数の推移（～2016年）



世界保健機関(WHO)ガイドラインに基づき、以下URLに掲載のグラフをマツダにて作成
<https://extranet.who.int/roadsafety/death-on-the-roads/#trends/>

課題解決に向けたマツダの考え方

社会課題解決に取り組む理由

2030年頃には、進化した先進安全技術の普及により、交通事故は減少傾向を示し、グローバルで安心・安全に移動できる社会に向かうと考えられます。

マツダは、すべての人がすべての地域で自由に移動し、心豊かに生活できる仕組みを創造し築いていくことにより、事故のない安全なクルマ社会の実現を目指します。

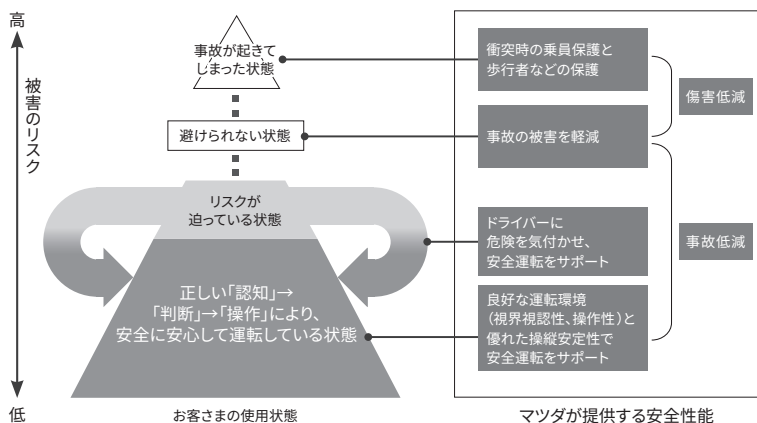
社会課題解決に向けた考え方

マツダは、ドライバー・人間を理解・信頼・尊重することを重視する安全性能の考え方「Mazda Proactive Safety (マツダ・プロアクティブ・セーフティ)」のもと、安全技術の研究・開発を行っています。

安全に運転するためには、認知・判断・操作の各ステップで適切に行動することが重要です。運転する環境が変化しても、正しく認知・判断することをサポートし、安全に安心して運転していただきたいと考えています。

しかし、人間は時として避けられないミスを起こします。万が一のドライバーのミスにも対応できるように、事故被害を防止・軽減することをサポートする技術を開発・提供していきます。

Mazda Proactive Safety (マツダ・プロアクティブ・セーフティ)：マツダが目指す安全性能の考え方



マツダの取り組み

「安心・安全なクルマ社会」の実現に向けたビルディングブロック

マツダは「安心・安全なクルマ社会」の実現に向けて、「Mazda Proactive Safety」の考え方にに基づき、技術開発を進めてきました。環境技術と同様に、安全技術に対してもビルディングブロック戦略を採用しています。一番下の、ベースブロックとなる技術は、ドライビングポジション、ペダルレイアウト、視界視認性、ヒューマン・マシン・インターフェースなどの基本安全技術です。オルガンペダルの採用や優れた視界視認性への取り組みなど継続的進化を進めてきました。真ん中のブロックは、運転初心者から高齢者まで、さらに多くのお客さまへ、より安心・安全なクルマをお届けするための先進安全技術「i-ACTIVSENSE」です。認知支援を行いドライバーの安全運転をサポートする「アクティブセーフティ技術」に加え、事故が避けられない状況での衝突回避・被害軽減を図る「プリクラッシュセーフティ技術」で構成されており、こちらも継続的進化を進めています。そして、一番上のブロックが2017年に宣言した、高度運転支援技術コンセプト「MAZDA CO-PILOT CONCEPT (マツダ・コ・パイロット・コンセプト)」です。

「安心・安全なクルマ社会」の実現に向けたビルディングブロック



TOPICS

MAZDA CO-PILOT CONCEPT

人間を中心に考えるマツダ独自の高度運転支援技術、そのコンセプトが、「MAZDA CO-PILOT CONCEPT」です。「MAZDA CO-PILOT CONCEPT」は、ドライバーの体調・操作を常時モニタリングし、万が一のときに対応できるようにバックアップとして機能することを想定しています。そして眠気に襲われる、意識を失ってしまうなどの突然の体調不良を検知した際に、ドライバーにアラームで知らせた上で、運転を続けることが難しい場合は、クルマを減速・停車させ、必要に応じて緊急通報を実施するというコンセプトです。この技術により、どのような方にも起こりうる突然の体調変化に対して、ドライバーだけでなくそのクルマの周辺の被害を低減し、ドライバーを送り出す家族や周囲の人々への安心をも提供できると考えています。第1段階の「MAZDA CO-PILOT 1.0」は2022年のラージ商品群から導入を開始する予定です。

※居眠り運転を可能にするためのシステムではありません



SDGsへの貢献

目標およびターゲット



(3.6) 道路交通事故死傷者を半減させる